



講演で特に印象深かった内容、その他

- ・圧迫だけでなくスレによる原因で褥瘡が出来るため、体位変換+ギャッチアップの体位の大事さが良くわかりました。
- ・在宅における褥瘡管理のキーはケアネだという視点を教えて頂き、今後の退院調整でFaとCMIに向けても指導を行おうと決めました。
- ・衛生材料活用の部分、被覆材の保険請求部分をもう少し、自分でも調べてみたい。
- ・褥瘡の予防について、よく理解できました。
- ・「在宅ケアの良否を決定づけるのはケアマンの判断」褥瘡だけに限らず、この一言につきと思いました。
- ・予防の大切さ。早期発見、早期対策法。
- ・体交できない方は除圧はしていたがギャッチアップ作動後にも圧抜きが必要とはじめて知りました。他にもはじめて知ることがあり大変勉強になった。
- ・実際の症例はよかったです。
- ・圧迫とスレ、時間が重なって褥瘡発生すること、クッションの正しい使い方など、とても勉強になった。外用薬について資料があったが、もっと詳しい話が聞きたかった。→質問で解答がありましたが、もっと興味がありました。
- ・褥瘡の基礎知識は持っていたが、改めて気付いたことも多かった。

講演で特に印象深かった内容、その他

- ・施設での褥瘡の対応と、在宅での褥瘡の対応との違いを感じた。在宅でもしっかり治療できることを学び、これからの介護に活かしていきたい。
- ・適切な方法がよくわかった。
- ・褥瘡の期序については、キヤッチアップの角度と深く関係している事をチームで共有して、日常のケアにつないでいきたいと思いました。
- ・褥瘡の基礎知識について、褥瘡の発生原因、褥瘡対策の基本。在宅褥瘡についても全て勉強になりました。外力の認識が出来ました。
- ・施設において往診医との連携をしっかりとっていても、処置の方法が違っていれば回復していかない為、専門医の助言が必要なんだということを知ることができた。
- ・重症の患部が良くなることがわかった。知は大事。
- ・家族や施設の知識不足のため褥瘡を悪化させる件が多く、自分の施設でも寝たきりの利用者さんは居ますので、明日から実践し褥瘡を作らないように指導に努めるようにする。褥瘡については、十分理解できました。すごく為になりました。
- ・ずれを予防するキヤッチアップ。圧迫とスレ。背抜き、足抜き。クッションの当て方。90°のルール。
- ・在宅での介護。知識不足で褥瘡が悪化しているのが、実際にある事が印象に残りました。中々、家族での介護が難しいと思いました。施設での褥瘡予防、ポジショニングが勉強になりました。実際に活用してみたいと思います。
- ・キヤッチUPの角度で体位が変わるのだと初めて知る事ができた。施設で気をつけていきたい。
- ・褥瘡発生→予防について、とても分かりやすかったです。体交について→個人に合った体交時間の設定など必要であることも学ぶことができました。
- ・ケアマネが重要と言う事は知らなかった。看護、介護の問題だと思っていました。背抜きなどなかなか介護の方は実行しておらず、明日から情報共有し、利用者様の生活していく上で大切だと説明していきます。
- ・圧迫のずれで褥瘡が出来る。
- ・褥瘡に対するケアマネジャーの知識が求められるというご意見、事業所内で本日の研修内容を共有させていただきます。
- ・4症例の褥瘡の検証→治Iのスライドは「治るんだな」とかなり感動した。医療職でも情報共有、知識不足があると学べた。
- ・医療関係者が家族からの情報収集が必要。
- ・勉強になりました。私の訪問診療にも役立ちそうです。「ケアマネさんを巻き込む」
- ・症例(在宅における現状、重症化への原因)に対するお話がとても印象深く残りました。ターミナル期におけるケアの考え方をもう少し深くお聞きしたいと思いました。
- ・皮膚科、形成外科医の褥瘡に対して訪問して下さる先生はいらっしゃいますか？資源リストに載せていただけたらと思います。今回は認定看護師さんのお立場からのお話でしたが、「褥瘡」というテーマで栄養士さんやリハ職や薬剤師さんや医師やヘルパーさん各々の立場から連携の実態を紹介していただけると参加者も増えるし、多職種の方の参加が得られるかなと思いました。Webでの配信の手段もとれると選択肢が増えて、参加しやすいかなと思いました。
- ・褥瘡は予防が大事である事は頭では理解していましたが、職業上治療の方に目がいていました。今回の講演で薬剤より除圧、スレをなくす事が重要と知りました。ありがとうございました。

講演で特に印象深かった内容、その他

- ・エアマットの使用が有効であること。体位変換の時間も参考になった。
- ・4つの症例。
- ・ケアマネジャーさんの知識が大切ということ。ケアマネさんに情報提供するのもNsの仕事だと思った。
- ・圧迫だけで、褥瘡に繋がると思っていたが、ズレにより危険性が高まるということが知れた。
- ・「在宅ケアの良否を決定づけるのはケアマネジャーの判断です」というのがケアマネとしてはとっても責任が重く感じました。ケアプランに入れる必要がある。
- ・褥瘡に対するケアマネジャーの知識がかなり求められており、在宅ケアの良否を決定づけることもケアマネジャーの判断となることを忘れずに業務を行い、本日学べたことで知識も深まった。
- ・ベッドの選び方が予防につながると分かった。
- ・褥瘡に関して基本的な情報を知ることができました。知らない事が多かったです。
- ・褥瘡は大変である。正しい治療を与えたい。本人が一番つらいが家族もつらい。円座を今まで多数販売してきたことを反省しています。ありがとうございました。
- ・4事例の褥瘡の写真が印象に残りました。
- ・一定時間。
- ・実際の状態がわかり参考になりました。スキンケアの事。圧迫とズレ。
- ・「ズレ」注意していきたいです。介保サービスであればケアプランですね。
- ・在宅ではベッドの上に布団の方、仰臥位で寝返りせずに休んでる方が多い。介護度でエアマット使用は出来るが、支援の人はすぐに対応出来ない。体交等、声かけしても予防出来る事はしていきたい。
- ・褥瘡の発生原因にズレが大きく起因している事が勉強になった。印象深かった。
- ・「ズレカ」が重要というのが学びになりました。今までは圧にだけ気をつけて介護していたので気をつけようと思いました。今回学んだことで介護にも褥瘡の予防、ケアは重要だと改めて気付くことができました。

研修会に関する希望

- ・毎年お願いします。保湿→夏場の保湿、ガーゼの保護のテープの貼用方法など、もっと詳しく知りたいです。
- ・介護にも必要な医療の範囲について取り上げていただけると、連携に活かせると思う。
- ・BCPの研修や感染予防に対する研修。
- ・再度褥瘡の研修をお願いしたいです。
- ・ディスカッション形式で事例検討会が出来たら参加したい。
- ・むずかしいオムツ交換の最適な実技が知りたいです。急変される利用者の受診すべきタイミングの見分け方。
- ・看取りについて施設での心がまえや、家族への対応やケアについて。
- ・勉強になるので、機会があれば次回も参加したいです。
- ・また次回もあれば参加したいと思う。
- ・職業柄腰痛に悩まされています。移乗などの講義を実践して頂けたらと思います。
- ・感染症について、色々勉強していきたい。

研修会に関する希望

- ・精神疾患、てんかんの知識。難病、特定疾患について。
- ・摂食、嚥下時のポジショニング(ベット上、車イス)についても、看護の立場から教えてください。講師としてはPOTT代表 迫田綾子先生、広島赤十字看護大学名誉教授を希望します。対面でもwebでもかまいません。
- ・多職種連携で行う在宅医療～亡くなるまで食べるためには～ゆうの森たんぼぼクリニック永井康徳医師。精神症状を捉える方の多職種による在宅継続支援について考える～疾患と障害、関わり方について～若戸病院院長行正徹医師、これからの在宅看取りを考える～最期まで在宅おひとりさまは可能？～新田医院新田智之医師。
- ・在宅系。
- ・在宅、施設を問わない問題。医療の問題を多く知りたい。
- ・自立支援についての研修。
- ・感染症。
- ・医療器具がかなり進化してきているので、さまざまな場面で活用する器具の説明などをしてほしい。
- ・ターミナル期の利用者様の介護に携わることが増えたので、施設でのターミナルケアについて知りたいです。

その他意見

- ・ありがとうございました。
- ・ご家族からの情報が少ない(聞き取りを行っても報告していただけない)場合、早期発見につながる知識は必要だと思うので、この様な研修は大変参考になります。
- ・MCSを使用する病院施設が増え、多職種での情報共有や迅速な検査、治療(Dr指示にて)ができていく現状を日々感じています。今後も在宅医療、連携が広まることを願っています。
- ・現在、勤務しているところはMCSを使っていて、多職種との連携は重要だと思う。
- ・MCSに参加してとても勉強になり、助かっています。情報が共有出来ています。
- ・在宅医療の必要性の浸透、地域コミュニティの構築。
- ・コロナ5類となり、住宅型施設で利用者さんが感染、プラン変更の為坦会ですが、北九州市はTEL等で(本人の状態にもよるが)本人、Faの同意があれば、後日プラン記名OKだが、遠賀中間の保険者は必ず坦会となっている。CMの感染や施設内もバタバタしている所に必ず行っているが…保険者で違う所に？です。
- ・在宅総合支援センターに相談したい事があっても、土日祝日17時以降の相談ができない。
- ・お世話になります。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・介護士さんは資格もなく専門職の意味がよくわかってない人が多い。看護師さんに理解してもらい、統一したケアすることが大変です。
- ・知識不足を感じています。色々教えて下さい。
- ・今後もよろしく御指導下さい。
- ・MCSを利用して、軟膏添付場所、薬の種類を共有する事によって改善している事ができ、いい事だったと思いました。
- ・いつもありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。